



横浜市立一本松小学校

12月号

学校だより

横浜市立一本松小学校

校長 高桑 透

令和6年11月29日



『歴史をつむいで未来をつくろう』

校長 高桑 透

とても暑かった夏から短い秋を終え、あっという間に寒い冬がやってきたようです。季節の移り変わりがあまりにも早く、体調を崩す児童も多くなっています。感染症の影響で私たちはうがい手洗いの大切さを再認識しました。栄養をしっかりととり、十分な睡眠で、これからの季節を乗り切ることができればと思います。

明日はいよいよ一本まつりです。約1か月前の一本松オリンピックが終わるとともに、明日に向けて子どもたちは全力でがんばってきました。午前中の学習発表会では、今までの学習の成果を伝えたい、自分たちの成長した姿を見ていただきたいという気持ちで発表します。一人ひとりの思いを感じていただき、笑顔と温かい拍手で子どもたちの頑張りを褒めていただけると嬉しいです。子どもたちもきっと、大きな喜びと達成感を味わうことができるでしょう。

また、午後のまつりに関しても、PTAを中心に地域の皆様の協力を得て長い期間準備してきました。一本まつり大人実行委員会は、昨年2月に方向性を決め、夏休み前から3度もの会議を重ねてきました。特にここ1か月間は、毎日のように本部役員さんやボランティアさんが学校にいらして、準備を進めてくださいました。子どもたちの笑顔のために、こんなにたくさんの大人たちが力を合わせているということが、どんなに尊いことか、どんなに素晴らしいことか、子どもたちもきっと感じるができると思います。そして、そのことを心に、一本松を愛し、まちを愛する子どもたちに成長してくれると信じています。

先日、西区制80周年記念式典に参加してきました。西区は歴史のある街であると同時にみなとみらい地区のようにこれからの横浜の中心となる街でもあります。80周年のキャッチフレーズは「温故知新 歴史をつむいで未来をつくろう」です。西区の歴史や魅力を再発見し、これからの未来を一緒に作っていこうという思いが感じられます。本校は西区の中でも第4地区に属していて、地域行事も活発です。先月は「大運動会」、来週末は「クリスマスコンサート」、3月には「みんなのまつり」があります。その他にも子ども会関係での収穫体験やキャンプなどもあります。地域の活性化のために、人と人との繋がりのために、たくさんの行事や取り組みを続けてきた思いを大切に、さらにより良い方法へと変化させながら未来を作っていこうとしています。西区のキャッチフレーズではありますが、第4地区ではずっと取り組んできていることだと感じ、うれしくなりました。学校は未来を作っていく子どもたちを育てていく場所です。そして子どもたちを育てることは学校だけではできません。よりよい未来をつくるために、これからも「チーム一本松」で子どもたちのために、明るい未来のためにご支援ご協力をお願いいたします。